

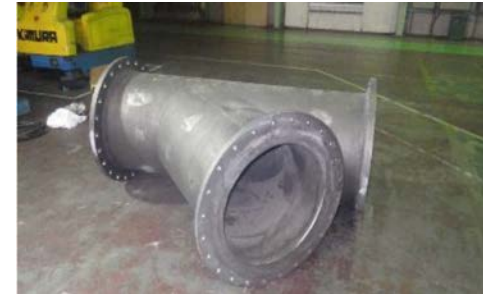
従来の製品、工法の課題

- 溶融スラグ輸送用の鋼管は、過酷な条件で使用するため、管内側に玄武岩（バサルト）を貼り付けたバサルト管を使用。
（課題）バサルトは摩耗しやく剥離も発生。メンテナンスコスト大。

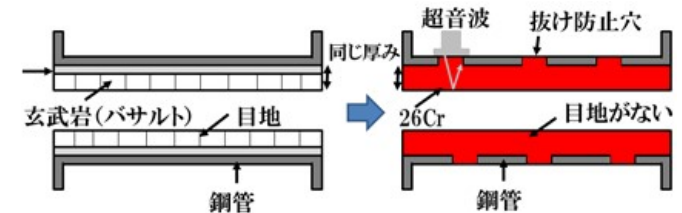
開発技術・効果

フルモールド Casting法を用いて、耐摩耗性の高い高クロム鉄溶湯を鋼管内部に鑄ぐるむ複合化により、輸送用鋼管の長寿命化を実現

- 長寿命化
 - ・従来のバサルト及びモルタルからクロム鉄に置き換えることにより、**耐摩耗性が大幅に向上（約10倍）**。
- 再現性の向上
 - フルモールド法を用いることにより、一般の鑄造工法における中子を不要とし、発泡模型を入れた管内に砂を込めるだけで製造可能に。
- メンテナンスコストの軽減
 - ・目地をなくす事で剥離による剥がれの改善
 - ・抜け防止穴を設けることで**超音波検査による摩耗状況の検査が可能に**。
- 環境配慮
 - ・鑄造品（全て金属）であることから**リサイクル性が向上**。

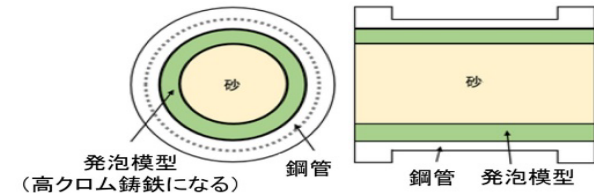


高摩耗性輸送管（開発品）



バサルト管（従来品）

鑄造製管（開発品）



フルモールド法による高摩耗性輸送管の製造